

意見交換会「平成 28 年 11 月 5 日 山西防災コミュニティセンター」要約

テーマ：「二宮町公共施設の将来構想について」

将来構想という大きな課題として意見交換を行った。町民参加者 11 名と議員 14 名で以下のようなブレインストーミング的な意見交換及び議会に対する質疑となった。

1. 国立小児病院跡地について

- 小児病院跡地売却を含めた活用にシバリがあるか。子どもの施設等に用途指定されていると聞いている。たとえば、売却し、売却益で庁舎等建設資金とすることは可能なのか？
- 他用途に資する場合、1 億 3 百万円の違約金を収めることが契約書にある。支払えば可能と解釈できる。(議会側から答弁)

追記：意見交換会後に企画政策課に確認したところ、「違約金支払の義務は発生しないと解釈している」とのことであった。

2. 未利用地の活用について

- 未利用地利活用について町の方針決定状況はどうなっているか。平成 29 年度に町民に公表する(素案は 2 月発表)との議会答弁あったが、そうであるか。
- 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員として委員会の進行状況から鑑みて難しいと思われる。
- スピード感を持って取り組み方向性を決定すべきだ。

3. 正泉寺跡地について

- 正泉寺跡地を駐車場として使えないか。
- 役場下の細い道からしか入れなく、駐車場としての活用は道路環境で難しいと思われる。役場側からは段差あり過去にも検討されたが困難と判断された。
- 文化センターとしての活用する目的で、4 億円強で購入したが、その後ラディアンができ計画が無くなった。
- 自然環境を利用する施設とするような逆発想もあるのではないか。

4. 役場庁舎について

- 議会一般質問でも質疑されたが、更新や庁舎移転の結論がでていないのか。
- 結論は出ていない。

5. 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員について

- 委員の選出はどのように行われたのか。また進捗状況はどのように確認できるのか。
- 委員の選出は公募なしで大学の先生と町民から町が選択した。議会から一人代表として委員となっている。委員は合計 6 名だ。傍聴は可能で、議事録や資料はホームページに公開されている。企画政策課が担当部署だ。

6. 全体として

- 町は5施設を選択した状況で留まっている。優先順位を提案し、コスト等の試算も行い、もう少し具体的な方向性を示して町民と議論するようなことをした方が良い。スピード感を持って進めてほしい。
- 今後施設を造っていくときには、色々な町民の基本理念やコンセプト等が反映できるシステムも必要。

- 町民参加者の意見又は質問
- 議員の個人意見又は答弁